

作業用踏台 G 取扱説明書

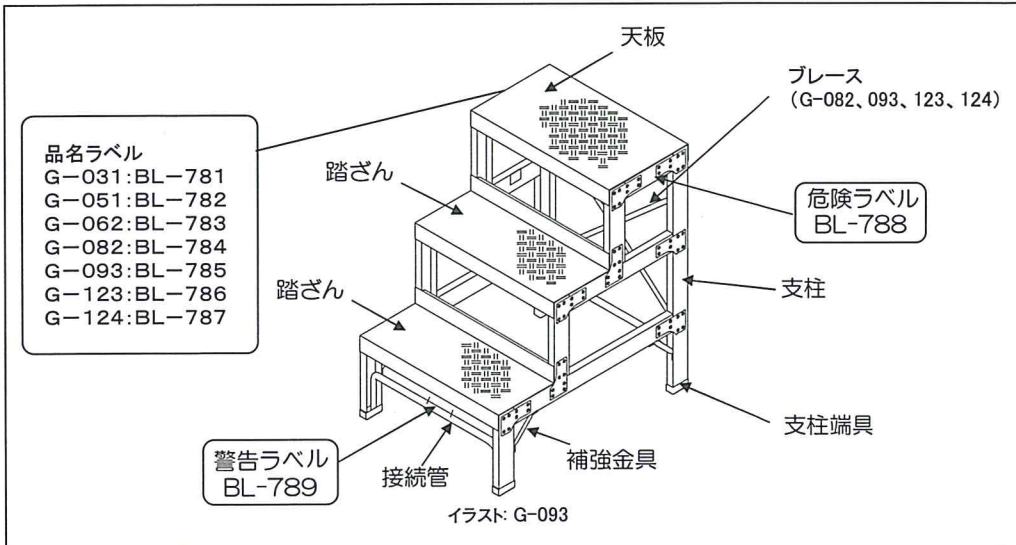
このたびは本製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。
この取扱説明書は、本製品の使い方と使用上の注意事項について記載しております。

最良の状態でお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みいただき、事故が起こらないよう内容をご理解された上で正しくご使用ください。

なお、お読みになった後もすぐに取り出しお読みいただけるようこの取扱説明書を大切に保管してください。



- 作業用踏台は、正しく使われていないと転倒や転落の危険があります。 お使いになるときは作業用踏台の安定した状態をご確認ください。
- 作業用踏台は、昇降面の左右に転倒しやすいので、十分注意してお使いください。
- この取扱説明書に書かれた使い方以外の使用方法や注意事項を守らずに、事故を起こされても責任を負いかねますのでご了承ください。



- 取扱説明書に記載されている **△注意** **△警告** **△危険** マークは取付け、取扱いに関する安全上の重要事項なので必ずお守りください。

△注意 記載されている内容を守れない場合、けがや製品破損する恐れがあることを示します。

△警告 記載されている内容を守れない場合、死亡や傷害事故が生じる危険のあることを示します

△危険 記載されている内容を守れない場合、死亡や重大な事故が生じる危険が極めて大きいことを示します。

- 本製品を改造しての使用は絶対に行わないでください。
- 製品に異常があった場合、ご自身の判断で手直しや補修を絶対に行わないでください。一度変形した本体や金具は著しく強度が落ちており、手直ししても本体や金具の破損が起こり、転倒や転落による人身事故の原因になります。
- 本製品の仕様、取扱い内容につきましてご不明な点がございましたらお買い上げの販売店または当社お客様相談室(総務室)にお問い合わせください。



〒750-0322 山口県下関市菊川町権崎1278-1 Tel 083-287-1231 Fax 083-287-1201

安全作業のために、必ず守っていただきたいこと



- 設置するときや持ち運ぶときには配電線に注意してください。

この製品は電気を通しますので配電線に触れると感電し、重大な事故につながる危険があります。



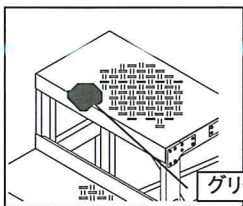
- 本体表示ラベル(150kg)の最大使用質量の範囲内で使用してください。
- 作業用踏台以外の使い方をしないでください。
- 作業用踏台の加工や改造をしないでください。
- ご使用前には必ず点検を行い、異常のないことを確認してください。
リベットのゆるみや、天板、踏ざんにガタツキのないことを確認してください。
- 変形した作業用踏台を使用しないでください。
- 作業用踏台が安定しない場所や滑りやすい場所には設置しないでください。
- 作業用踏台は製品を体の正面に向けて昇降願います。
(製品を背にした昇降をしないで下さい)
- 作業用踏台を高くするために、足場やパイプ、木などをつないだり台や箱の上に
乗せたりしないでください。
- 天板の端に立ったり、爪先立ちや片足で立たないでください。
- 作業用踏台から身体を乗り出して作業をしないでください。
- 天板の上に台や物を置いて作業をしないでください。
- 同時に二人以上乗らないでください。
- 二つの作業用踏台の間に板をかけて足場などを使わないでください。
- 作業中、作業用踏台の上で壁や物を無理に押ししたり引いたりしないでください。
- 身体の安定が得られないような荷物を持って昇降しないでください。
- 天板での作業で上ばかり気をとられて足を踏み外すことのないように注意してください。



- 貼りつけてあるラベルがなくなったり、読めなくなった製品は使わないでください。
- 持ち運ぶ時は、引きずったり、投げたり、乱暴に扱わないでください。
- 人の出入り口やドアの前には設置しないでください。
- 雨の中や強い風の場所には設置しないでください。
滑ったりバランスをくずして転倒や転落の恐れがあります。
- 足元や周囲がはっきり見えない暗がりには設置しないでください。
- 作業用踏台は静かに昇降し、踏台の途中から飛び降りたりしないでください。
- 作業用踏台の周囲に危険な物は置かないでください。
- 雨ざらしで保管をしないでください。

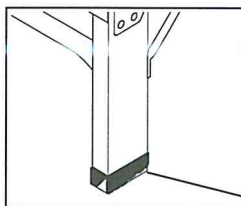
ご使用前点検

作業用踏台をお使いになる前には下記の点検を行い、異常のないことを確認してください。
また、異常に対して対処できるものは、正しい対処を行った後に使用してください。



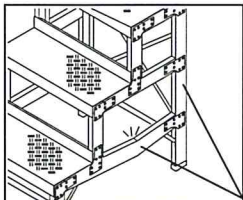
天板や踏ざんにグリス・油・泥・雪・水・ペンキなど、滑りやすいものが付いていないか確認し、付いている場合はきれいに拭き取ってください。

グリスなどの汚れ



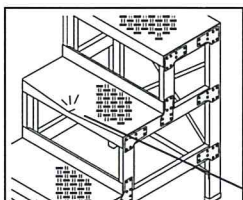
支柱端具がすり減ったり、外れたりしている場合は絶対に使わないでください。

支柱端具の破損したもの



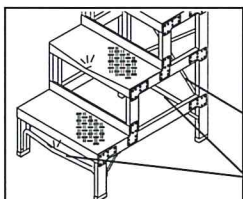
支柱に曲がりなどの変形やねじれ・へこみがある場合には絶対に使用しないでください。

支柱の曲がりなど



踏ざんに曲がりなどの変形やねじれ・へこみがある場合には絶対に使用しないでください。

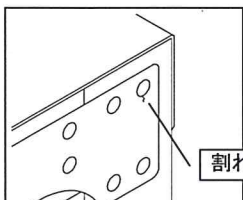
踏ざんのまがり



接続管やブレースに曲がりなどの変形やねじれ・へこみがある場合には絶対に使用しないでください。

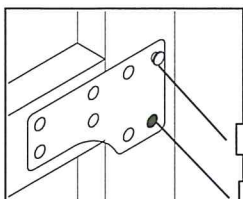
ブレースのまがり
(G-082、093、123、124)

接続管のまがり



各部の接合部に割れや腐食がある場合、また取付け部の破損・脱落・変形・磨耗・腐食がある場合には絶対に使用しないでください。

割れ(亀裂)



接合部のリベットにゆるみや抜け落ちがある場合には絶対に使用しないでください。

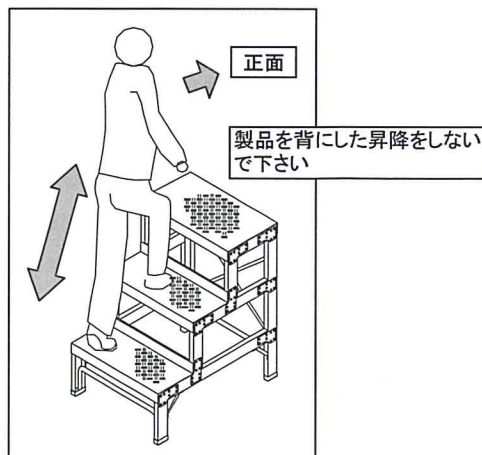
リベットのゆるみ

リベットの抜け落ち

作業用踏台の使い方

【設置場所について】

- 平坦で安定した場所、滑りにくい地面や床、また作業用踏台が埋もれない場所を選んで設置してください。
- 雨や水のかからない場所、強い風を受けない場所へ設置してください。
- 作業用踏台の周囲に危険なものがなく、バランスの良い作業姿勢で使える位置に設置してください。
- 設置後は作業用踏台にガタツキがないか確認してください。
ガタツク場合は作業用踏台の位置を移動させてガタツキを取り除いてください。



正面

製品を背にした昇降をしないで下さい

【昇降について】

- 昇降には滑りにくい履物などをはいてください。
- 身体の前面を作業用踏台の昇降面に向け、慎重に昇降してください（製品を背にした昇降をしないで下さい）。
- 降りるときには、飛び降りずに1段ずつ慎重に降りてください。
- 天板上で作業する場合には、身体が作業用踏台から乗り出さないようにしてください。
- 天板上に立つ時は、身体が天板の中央にくるようにしてください。

使用後のお手入れと保管方法

【お手入れについて】

作業用踏台にとって泥・汚水・セメント・石灰・海水は大敵なのでいつもきれいにしておいてください。

<そうじについて>

- ①汚れはぬれ雑巾などできれいに拭き取ってください。
 - ②汚れが著しい時は、水洗い後乾いた布で拭いてください。
 - ③油汚れは、クリーナーや洗剤で落とした後、きれいに拭き取ってください。
- ⚠ クリーナーや洗剤をつけたままでは腐食の原因となります。

【保管について】

- ①雨や直接日光の当たらない風通しの良い乾燥した場所を選んで保管してください。
 - ②製品が濡れている時は、十分に乾燥させてから保管してください。
- ⚠ 保管中は製品の上に物を置かないでください。
変形の原因となります。
- ⚠ 農薬やセメント・石灰の近くに製品を置くと化学反応を起こし腐食の原因となるので、絶対に置かないでください。